



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月9日

上場会社名 株式会社ストライダーズ 上場取引所 東  
 コード番号 9816 URL http://www.striders.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早川 良一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼 CFO (氏名) 若原 義之 TEL 03 (5777) 1891  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,506	33.5	125	76.6	116	48.9	84	45.4
28年3月期第1四半期	1,128	55.5	70	165.3	78	170.1	57	167.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 77百万円 (119.5%) 28年3月期第1四半期 35百万円 (309.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	0.95	0.95
28年3月期第1四半期	0.65	0.65

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	3,647	1,723	47.0	19.33
28年3月期	3,605	1,646	45.4	18.46

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 1,714百万円 28年3月期 1,637百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	9.0	350	17.8	330	19.0	230	70.0	2.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社の業績評価は通期ベースで行っており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	88,730,896株	28年3月期	88,730,896株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	26,098株	28年3月期	26,098株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	88,704,798株	28年3月期1Q	88,705,298株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用環境の改善などが堅調に推移し緩やかな景気回復基調が継続しております。

一方、海外におきましては中国を初めとした新興国経済の景気減速基調や英国の欧州連合(EU)離脱問題を受け円高が進むなど、海外経済の先行き不透明感は依然続いております。

このような経済状況下、当社グループ(当社及び連結子会社)は、既存事業において新規顧客獲得に向けた営業活動や経費削減等に取り組み利益増大を図る一方、新たな事業の創出に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高1,506百万円(前年同四半期比33.5%増)、営業利益125百万円(前年同四半期比76.6%増)、経常利益116百万円(前年同四半期比48.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益84百万円(前年同四半期比45.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①IT関連事業

IT関連事業につきましては、モバイルリンク株式会社において、台湾との合併会社における自社ブランドの車載器の開発の遅れにより、当初予定していた既存システムのリプレイス案件にも影響を及ぼし受注が減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のIT関連事業の売上高は55百万円(前年同四半期比24.6%減)、営業損失は3百万円(前年同四半期は営業損失2百万円)となりました。

## ②企業再生再編事業

企業再生再編事業につきましては、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において、資産売却等のリストラによる収支改善や資金調達支援、M&Aに関するコンサルティング業務等に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の企業再生再編事業の売上高は24百万円、営業利益23百万円となりました。なお、前年同四半期は、売上高は計上されておらず、営業損失0百万円でありました。

## ③不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、消費増税を見据えた駆け込み需要が長引き新設住宅着工戸数は高水準を維持しております。このような状況下において、株式会社トラストアドバイザーズは、レジデンス事業における積極的な営業活動により管理物件の戸数が増加し、また、不動産売買事業も好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の不動産賃貸管理事業の売上高は978百万円(前年同四半期比62.5%増)、営業利益は56百万円(前年同四半期比28.9%増)となりました。

## ④食品関連事業

食品関連事業につきましては、有限会社増田製麺において、神奈川エリアにおける横浜家系ラーメンを中心に中華麺等の製造販売を行っております。ラーメン店の閉店等により取扱高は一時減少したものの、既存ラーメン店の店舗拡大により受注高は微増いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の食品関連事業の売上高は40百万円(前年同四半期比4.8%増)、営業利益は3百万円(前年同四半期比383.0%増)となりました。

## ⑤ホテル関連事業

ホテル関連事業につきましては、現在、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテル、倉敷美観地区エリアで倉敷ロイヤルアートホテルを運営しております。成田ゲートウェイホテルは、政府の観光立国推進に向けた各種施策の影響により訪日外国人が増加し、稼働率は高水準を維持いたしましたが、周辺ホテルとの価格競争の影響により宿泊単価は微減いたしました。また、倉敷ロイヤルアートホテルは、「晴れの国おかやまデスティネーションキャンペーン」、G7倉敷教育大臣会合の影響により宿泊者数は増加したものの、水島地区の自動車工場停止の影響により宴会の受注が減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のホテル関連事業の売上高は406百万円(前年同四半期比1.6%減)、営業利益84百万円(前年同四半期比12.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,005百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が79百万円増加したものの、有価証券が12百万円、たな卸資産が8百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は1,642百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円減少いたしました。これは主にのれんが6百万円、関係会社株式が5百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は3,647百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は725百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。これは主に買掛金が11百万円、預り金が22百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が6百万円、未払金が19百万円、未払法人税等が9百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,198百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が33百万円、長期預り敷金保証金が5百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は1,924百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,723百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益84百万円を計上したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は47.0%（前連結会計年度末は45.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

## (4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,419,638	1,498,849
売掛金(純額)	112,237	113,438
有価証券	51,023	38,650
たな卸資産	224,573	216,414
繰延税金資産	39,997	39,997
その他	98,508	97,842
流動資産合計	1,945,978	2,005,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	865,106	853,552
土地	348,663	348,663
その他(純額)	30,363	40,188
有形固定資産合計	1,244,132	1,242,405
無形固定資産		
のれん	208,685	202,173
その他	12,009	11,213
無形固定資産合計	220,694	213,386
投資その他の資産		
投資有価証券	54,379	54,379
関係会社株式	78,645	73,456
その他	61,226	58,576
投資その他の資産合計	194,251	186,411
固定資産合計	1,659,078	1,642,203
資産合計	3,605,056	3,647,395
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	63,046	74,997
1年内返済予定の長期借入金	149,632	143,302
未払金	82,273	62,775
未払法人税等	40,677	31,217
賞与引当金	21,929	17,704
預り金	101,100	123,570
金利スワップ	44,800	47,793
その他	220,355	223,935
流動負債合計	723,816	725,295
固定負債		
長期借入金	819,266	786,073
退職給付に係る負債	8,967	9,232
長期預り敷金保証金	244,695	239,535
繰延税金負債	162,258	163,977
固定負債合計	1,235,187	1,198,818
負債合計	1,959,003	1,924,113

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,578,674	1,578,674
資本剰余金	267,219	267,219
利益剰余金	△160,867	△76,542
自己株式	△3,020	△3,020
株主資本合計	1,682,005	1,766,330
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△44,800	△47,793
為替換算調整勘定	-	△4,104
その他の包括利益累計額合計	△44,800	△51,898
新株予約権	8,219	8,219
非支配株主持分	628	630
純資産合計	1,646,052	1,723,282
負債純資産合計	3,605,056	3,647,395

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,128,476	1,506,078
売上原価	626,176	950,528
売上総利益	502,299	555,549
販売費及び一般管理費	431,344	430,273
営業利益	70,955	125,275
営業外収益		
受取利息	1,700	188
受取配当金	2,166	214
受取手数料	3,211	3,375
受取事務手数料	1,050	1,050
その他	5,792	1,989
営業外収益合計	13,921	6,817
営業外費用		
支払利息	5,015	4,734
有価証券評価損	-	5,619
持分法による投資損失	-	1,084
為替差損	-	3,479
その他	1,403	371
営業外費用合計	6,419	15,289
経常利益	78,457	116,803
特別損失		
投資有価証券評価損	3,611	-
特別損失合計	3,611	-
税金等調整前四半期純利益	74,845	116,803
法人税、住民税及び事業税	18,890	30,758
法人税等調整額	△1,475	1,718
法人税等合計	17,414	32,476
四半期純利益	57,430	84,327
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△546	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	57,977	84,325



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	57,430	84,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,672	-
繰延ヘッジ損益	2,428	△2,993
為替換算調整勘定	-	△4,104
その他の包括利益合計	△22,244	△7,097
四半期包括利益	35,185	77,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,732	77,227
非支配株主に係る四半期包括利益	△546	1

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T関連 事業	企業再生 再編事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	73,870	—	602,399	38,895	413,310	1,128,476	—	1,128,476
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	21	16	38	△38	—
計	73,870	—	602,399	38,917	413,327	1,128,514	△38	1,128,476
セグメント利益又 は損失(△)	△2,419	△30	43,898	824	74,901	117,174	△46,219	70,955

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△46,219千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T関連 事業	企業再生 再編事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	55,677	24,000	978,923	40,776	406,700	1,506,078	—	1,506,078
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	55,677	24,000	978,923	40,776	406,700	1,506,078	—	1,506,078
セグメント利益又 は損失(△)	△3,535	23,972	56,602	3,983	84,403	165,426	△40,150	125,275

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△40,150千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。